6月市議会最終本会議

　　　万博２回目事業で維新が「付帯決議」少数否決

　７月１０日、６月市議会定例会最終日本会議で「万博開催記念子ども体験促進事業」(５９２７万円)に対する維新会派による「万博に行ったか、それ以外に使用したか」アンケート実施を求める付帯決議が提出された。討論の結果、維新のみの賛成で少数否決、原案可決となりました。

　維新議員団は、総務都市創造常任委員会でも同趣旨の付帯決議を提出し、少数否決となっていました。付帯決議の趣旨は「万博に子どもを招待するのが目的なのに、使途を後追いしないバラマキ、万博に使わない可能性がある」事業後にアンケートを実施せよというもの。

何が何でも万博に子どもたちを参加させ、家族も含めて入場者増を確保したい焦りが見え隠れすするものとなりました。

《討論》

【森本議員・自民】反対

　・すべての事業について公平に、万博開催を機に子ども達の体験を広げるものである。

【古田議員・維新】賛成

　・万博会場入場料、明確な目的がある、副市長も一定の検証と答弁があった。万博以外の体験は目的外で税金の無駄遣い、正確な効果、税の使い方、血税の効果検証説明責任

【坂東議員・シン】反対

　・万博招待再考を促したい、メタンガス・熱中症・バス・安全面・引率・行く価値あるのか、情報提供不足、政治的判断、不確定、説明責任明らかでない、より慎重に

【松尾議員・共産】反対

　・市の提案は万博参加ありきでなく、具体的な活用は子どもと保護者の判断にゆだねている、どう使うか特別の調査になじまない、学校で夏の体験を教育現場にゆだねるべき

**万博入場券と同額の現金給付へ　子ども無料招待代替、反対論配慮**

7/10(水) 16:10配信

　2025年大阪・関西万博を巡り、大阪府寝屋川市議会は10日、市在住の子どもに前売り券と同額の現金を給付する事業費5927万円を盛り込んだ24年度補正予算を全会一致で可決した。府は万博への子ども無料招待に当たり、2回目を市町村で実施するよう推奨。市は万博への反対論に配慮し、招待の代わりに現金で子どもの選択肢を増やすとしている。 　前売り券のうち、開幕から来年7月18日まで入場可能な「前期券」と同額を給付する。25年4月時点の4～11歳には1人当たり1200円、12～17歳には3千円で、対象は約2万5千人。万博に限らず、幅広く子どもの体験を促進する目的と位置付けた。